プログラム

第 1 日目:11 月 19 日(木)

12:25~12:30　開会式

12:30~13:20　ランチョンセミナー1　肝硬変トータルマネジメント

座長:池嶋 健一（順天堂大学大学院医学研究科消化器内科学）

肝硬変診療ガイドラインを踏まえたトータルマネジメント　~肝性脳症含めて~

土屋 淳紀（山梨大学大学院総合研究部医学域内科学講座消化器内科学教室）

共催:あすか製薬株式会社

13:30~14:20　口演 1 【類洞内皮細胞】

座長:朝比奈 欣治（滋賀医科大学実験実習支援センター）
　　疋田 隼人（大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学）

O1-1　肝臓における PGE2 消失機構とその制御による急性肝障害の抑制

○薮内 優介[1]、島田 紘明[1]、川瀬 篤史[1]、櫻井 文教[1]

[1)]近畿大学薬学部

O1-2　量子ドットを用いた非侵襲的な MASH 診断技術基盤の開発

○谷貝 知樹[1]、菅波 孝祥[1]

[1)]名古屋大学環境医学研究所

O1-3　肝類洞内皮細胞における CYP26B1 の機能解析

○佐藤 博文[1]、豊島 翔太[1]、菱川 大介[1]、酒井 真志人[1]

[1)]日本医科大学医学部

O1-4　IGF 結合タンパク質 IGFALS の低下を介した肝類洞内皮の pro-capillarization による MASH 増悪機構の解明

○米山 鷹介[1,2]、武部 貴則[1,2,3,4]

[1)]大阪大学大学院医学系研究科、[2)]東京科学大学総合研究院、
[3)]大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点（WPI-PRIMe）、[4)]シンシナティ小児病院

O1-5　LSEC 由来分泌因子 Activin B による肝グルカゴン感受性の制御

○小林 直樹[1]、植木 浩二郎[1]

[1)]国立健康危機管理研究機構

14:25～15:05　口演 2 【肝障害・細胞死】

座長：大平 弘正（福島県立医科大学消化器内科学講座）
　　合田 亘人（早稲田大学理工学術院）

O2-1 自己免疫性肝炎肝組織における MRPS27 と DOK2 の空間的関連: イメージングマスサイトメトリーによる探索的単一症例解析

○和田 淳[1,2]、阿部 和道[1]、阿部 直人[1]、菅谷 竜朗[1]、藤田 将史[1]、林 学[1]、大平 弘正[1]
[1)]福島県立医科大学消化器内科学講座、[2)]福島県立医科大学会津医療センター消化器内科学講座

O2-2 代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）モデルマウスにおける Gpx4 の機能解析

○木島 真理恵[1]、鐘ヶ江 佳寿子[1]、鶴崎 慎也[2]、Kok Cindy Yuet-Yin[3]、田中 正人[4]、
中野 裕康[5]、田中 稔[1]
[1)]国立健康危機管理研究機構肝炎・免疫研究センター、
[2)]Centre for Heart Research, The Westmead Institute for Medical Research、
[3)]Translational Vectorology Research Unit, Children's Medical Research Institute、
[4)]東京薬科大学生命科学部免疫制御学研究室、[5)]東邦大学医学部生体防御研究室

O2-3 急性エタノール負荷後の肝細胞ゾーン特異的ミトコンドリア応答―脱分極・マイトファジー・呼吸能の解析―

○竹本 研史[1,2]、Matthew Savoca[2]、Zhi Zhong[2]、朝霧 成挙[1]、祝迫 惠子[3]、
波多野 悦朗[4]、John J. Lemasters[2]
[1)]山口大学大学院医学系研究科薬理学講座、
[2)]Department of Drug Discovery & Biomedical Sciences, Medical University of South Carolina、[3)]同志社大学生命医科学研究科再生医学研究室、
[4)]京都大学大学院医学研究科肝胆膵・移植外科

O2-4 ヒト iPS 細胞を用いた B 型肝炎ウイルスゲノム組込みによる肝細胞癌発癌機構の解析

○利岡 萌愛[1]、関 菜々子[1]、吉田 茉里花[1]、吉村 日花[1]、稲田 賢人[2]、持田 知洋[2]、
志水 太郎[2]、三好 正人[2]、山口 純司[1]、松沢 優[1]、朝比奈 靖浩[2]、柿沼 晴[1,2]
[1)]東京科学大学大学院医歯学総合研究科疾患生理機能解析学分野、[2)]東京科学大学消化器内科

15:10～17:00　シンポジウム 1 【発がん機序】

座長：田中 靖人（熊本大学消化器内科）
　　中川 勇人（三重大学大学院医学系研究科消化器内科学）

SY1-1 肝細胞 DFNA5 依存性二次性壊死はマクロファージ由来 TNF を介して肝発癌に寄与する

○齋藤 義修[1]、浜辺 友也[1]、山内 亮平[1]、佐々木 陽一[1]、村井 一裕[1]、疋田 隼人[1]、
小玉 尚宏[1]
[1)]大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学

SY1-2 ゲノム DNA 変異とは異なる肝がん発症機構の解明

○仁科 博史[1]、小坂 美咲[1]、岡本 好海[1]
[1)]東京科学大学総合研究院

SY1-3 肝細胞の「可塑性」捕捉のための新規遺伝子改変モデル構築とその生物学的意義の解明

○早田 有希[1]、川村 聡[1]、中川 勇人[1]
[1)]三重大学消化器内科学教室

SY1-4 肝臓における DYRK2 の腫瘍形成抑制作用と糖・脂質代謝恒常性への関与

○神岡 洋[1]、及川 恒一[1]、猿田 雅之[1]
[1)]東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科

SY1-5 肝細胞癌における PKR による HK2 を介した細胞内代謝制御と増殖促進

○渡辺 崇夫[1]、行本 敦[1]、岡﨑 雄貴[1]、島本 豊伎[1]、矢野 怜[1]、中村 由子[1]、吉田 理[1]、
廣岡 昌史[1]、阿部 雅則[2]、徳本 良雄[1]、日浅 陽一[1]
[1)]愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌・代謝内科学、
[2)]愛媛大学大学院医学系研究科地域医療・総合診療学

SY1-6 血液凝固因子 Von Willebrand factor は進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の治療効果および予後予測因子になりうるか

○浪崎 正[1]、西村 尚樹[1]、鍛治 孝祐[1]、吉治 仁志[1]
[1)]奈良県立医科大学

17:10～18:00　イブニングセミナー1

座長：田中 靖人（熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学講座）

HCV 治療の現状と課題

柴田 道彦（産業医科大学医学部第 3 内科学）

肝炎ウイルス感染者の予後改善に向けた取り組み

柘植 雅貴（広島大学病院肝疾患センター）

共催：アッヴィ合同会社

第 2 日目:11 月 20 日(金)

8:30〜9:20　モーニングセミナー1

座長:中川 勇人(三重大学大学院医学系研究科消化器内科学)

肝細胞癌の腫瘍微小環境とがん免疫療法

冨樫 康介(岡山大学学術研究院先鋭研究領域未来医療創発研究所、
岡山大学学術研究院医歯薬学域腫瘍微小環境学分野
岡山大学病院呼吸器内科)

共催:中外製薬株式会社

9:30〜10:10　口演 3 【胆管・胆汁酸】

座長:小森 敦正 (独立行政法人国立病院機構長崎医療センター)
祝迫 惠子 (同志社大学生命医科学部)

O3-1　肝外胆管の発生メカニズム解析

○奥村 歩[1,2]、谷水 直樹[1]、谷口 英樹[1,2]

[1)]東京大学医科学研究所再生医学分野、[2)]東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻

O3-2　培養胆管の延伸化による胆汁排泄経路の構築

○奥井 智菜[1]、井嶋 博之[1]、池上 康寛[1]、堺 裕輔[1]

[1)]九州大学工学府

O3-3　疎水性胆汁酸環境における代謝制御因子 FXR シグナル欠損に起因した肝代謝破綻の機序

○紙谷 聡英[1]、Hao Thi Vu[1,2]、鶴谷 康太[2]、三島 佑介[2]、稲垣 豊[3]、本多 彰[4]、加川 建弘[2]

[1)]東海大学医学部・分子生命科学領域、[2)]東海大学医学部・消化器内科学領域、[3)]東海大学・総合医学研究所、
[4)]東京医科大学・茨城医療センター・消化器内科学

O3-4　細胞内カルシウム動態の変化に着目した抱合型胆汁酸による IL-8 誘導機序の解析

○竹村 晃典[1]、平井 智也[1]、樋口 裕一郎[2]、上原 正太郎[2]、米田 直央[2]、末水 洋志[2]、
伊藤 晃成[1]

[1)]千葉大学大学院薬学研究院生物薬剤学研究室、[2)]公益財団法人実中研

10:15〜10:55　口演 4 【肝線維化・再生】

座長:松原 三佐子 (大阪公立大学獣医学研究科)
須田 剛生　(北海道大学大学院医学研究院内科学講座消化器内科学教室)

O4-1　脂肪性肝疾患における TEAD 経路阻害による微小環境を標的とした治療戦略

○山内 亮平[1]、斎藤 義修[1]、疋田 隼人[1]、小玉 尚宏[1]

[1)]大阪大学医学部医学系研究科消化器内科学

O4-2　肝線維化抑制化合物の同定と作用機序の解明

○角谷 美典[1]、金子 信人[1,2]、木戸 丈友[1]、宮島 篤[1]

[1)]東京大学定量生命科学研究所、[2)]神奈川県立産業技術総合研究所

O4-3 ヒト誘導肝前駆細胞移植による新規肝線維化治療

○坂口 嘉彬[1]、三浦 静[1,2]、堀澤 健一[1]、鈴木 淳史[1]

[1)]九州大学生体防御医学研究所器官発生再生学分野、[2)]九州大学生体防御医学研究所幹細胞医学分野

O4-4 肝内神経系による肝再生制御機構の解明

○長尾 裕志[1]、小藤 智史[1]、仁科 博史[1]

[1)]東京科学大学総合研究院難治疾患研究所発生再生生物学分野

11:00～11:40　口演 5 【培養系】

座長：三浦 光一（自治医科大学消化器内科）
　　鈴木 淳史（九州大学生体防御医学研究所）

O5-1 小型肝細胞長期培養で出現するラミニン 511 依存性大型細胞の老化細胞特性の解析

○市戸 義久[1]、石上 敬介[1,2]、三高 俊広[3]

[1)]札幌医科大学医学部附属研究所再生医学研究所組織再生学部門、

[2)]札幌医科大学医学部消化器内科学講座、[3)]日本医療大学保健医療学部看護学科

O5-2 生理学的培養系を用いた倍数性肝細胞の機能解明

○早川 和香[1]、菊川 拓輝[2]、山崎 允丈[2]、渡辺 悠介[1]、江刺家 勝弘[3]、楊 晶晶[3]、山崎 聡[3]、勝田 毅[4]、酒井 康行[2]、西川 昌輝[2]

[1)]東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻、

[2)]東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻、

[3)]三井化学株式会社、[4)]山口大学細胞デザイン医科学研究所

O5-3 灌流血管網を介した物質輸送と肝機能を再現する血管化肝スフェロイド型生体模倣システムの構築

○松本 倫実[1]、孫 一心[1]、洲河 青[1]、矢田 大地[1]、Anna K. Kopec[2]、Julie Harney[2]、Lindsay Tomlinson[2]、Nasir Khan[2]、藤本 和也[1]、横川 隆司[1]

[1)]京都大学大学院工学研究科、[2)]Drug Safety Research & Development, Pfizer

O5-4 酸素透過膜上での 4 細胞階層的共培養ヒト肝組織における高糖負荷応答性の獲得

○市原 諒也[1]、時任 文弥[2]、末澤 隆浩[3]、手塚 和宏[3]、勝田 毅[4]、西川 昌輝[1]、酒井 康行[1]

[1)]東京大学大学院工学系研究科、

[2)]Department of Surgery, Eli and Edythe Broad Center of Regeneration Medicine and Stem Cell Research, University of California, San Francisco (UCSF)、

[3)]アステラス製薬株式会社、[4)]山口大学細胞デザイン医科学研究所

11:55～12:45　ランチョンセミナー2

座長：坂本 直哉（北海道大学大学院医学研究院内科学分野消化器内科学教室）

DAA 時代における C 型慢性肝炎診療

宮明 寿光（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科消化器内科学分野）

MASLD 診療ガイドライン 2026 のポイント

川口　巧（久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門）

共催：アッヴィ合同会社

12:55～13:45　特別講演 1

座長：田中 稔（国立健康危機管理研究機構 肝炎・免疫研究センター）

肝臓免疫の空間多様性の解明～肝臓を炎症から保護する肝門脈域マクロファージの発見

石井 優（大阪大学大学院医学系研究科免疫細胞生物学）

13:50～15:40　シンポジウム 2 【肝線維化】

座長：寺井 崇二（新潟大学大学院医歯保健学研究科消化器内科学分野）
柿沼　晴（東京科学大学大学院医歯学総合研究科疾患生理機能解析学）

SY2-1 肝線維架橋形成における星細胞の時空間的制御機構の解明

○松田 道隆[1]、考藤 達哉[1]

[1)]国立健康危機管理研究機構

SY2-2 肝障害の病態制御における $p16^{Ink4a}$ 発現肝細胞の二面性

○中野 泰博[1,2]、隈本 宗一郎[1]、張 子雪[1]、城村 由和[1,2]

[1)]金沢大学がん進展制御研究所、[2)]金沢大学新学術創成研究機構

SY2-3 低剛性の細胞外基質がもたらす肝星細胞の形質変化

○稲田 賢人[1]、三好 正人[1]、関 菜々子[2]、利岡 萌愛[2]、木村 晶平[1]、持田 知洋[1]、
志水 太郎[1]、延澤 翼[1]、金子 俊[1]、北畑 富貴子[1]、村川 美也子[1]、新田 沙由梨[1]、中川 美奈[1]、
朝比奈 靖浩[1]、岡本 隆一[1]、柿沼 晴[1,2]

[1)]東京科学大学消化器内科、[2)]東京科学大学疾患生理機能解析学

SY2-4 11,12-EET による肝線維化制御機構と治療戦略

○池永 寛子[1]、松原 勤[1]、井上 喜来々[2]、松原 三佐子[2]、Le Thi Thanh Thuy[1]、
池田 一雄[1]、河田 則文[1]

[1)]大阪公立大学大学院医学研究科、[2)]大阪公立大学大学院獣医学科

SY2-5 VGLL3 は肝線維化を促進する

○屋比久 友貴[1,2]、笠井 康太郎[2]、堀井 雄馬[2]、廣中 貴則[2]、三重野 博貴[1,2]、山内 佑斗[2]、
加藤 秀昭[3]、小迫 英尊[4]、仲矢 道雄[1,2]

[1)]名古屋大学医学系研究科、[2)]九州大学大学院薬学研究院疾患制御学分野、[3)]塩野義製薬、
[4)]徳島大学先端酵素学研究所細胞情報学分野

SY2-6 GPNMB 陽性マクロファージサブセットが肝線維化に与える影響の解析

○杉山 真也[1]、酒井 愛子[1]

[1)]国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所感染病態研究部

15:45~17:05　ポスター発表　（9 階　海峡ホール）

座長：及川 恒一（東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科）

P-01　肝線維化においてマクロファージ由来 SEMA4D は肝星細胞（HSC）を活性化し SVR 後の HCC リスクを規定する

○Pham Tuan Anh[1]、Le Thi Thanh Thuy[1]、Norifumi Kawada[2]、
Pham Minh Duc[3]、Hoang Hai[1]、Nguyen Thi Ha[1]、Nguyen Bui Tam Chi[1]
[1)]大阪公立大学大学院医学研究科グローバル教育・医療学、
[2)]大阪公立大学大学院医学研究科生体恒常性調節学寄附講座、
[3)] ハノイ医科大学消化器内科

P-02　Fibrosis-Driven Tumor Programs and the Central Role of PARPBP in Aggressive Hepatocellular Carcinoma

○Vu Thi Hoai Thu [1]
[1)]Osaka Metropolitan University

P-03　ヒト肝星細胞の細胞死誘導機構における DCLK1 の機能解析

○関 菜々子 [1]、利岡 萌愛 [1]、吉田 茉里花 [1]、吉村 日花 [1]、稲田 賢人 [2]、持田 知洋 [2]、
志水 太郎 [2]、三好 正人 [2]、山口 純司 [1]、松沢 優 [1]、朝比奈 靖浩 [2]、柿沼 晴 [1,2]
[1)]東京科学大学大学院医歯学総合研究科疾患生理機能解析学分野、[2)]東京科学大学消化器内科

P-04　線維化進行に伴う局所剛性勾配が肝癌細胞の浸潤関連遊走に与える影響

○山地 由真 [1]、森田 有亮 [2]、山本 浩司 [2]
[1)]同志社大学生命医科学研究科、[2)]同志社大学生命医科学部医工学科

P-05　イヌ肝線維症の病期別にみた線維化関連遺伝子発現と病理組織学的所見の関連解析

○山口 眞生子 [1]、根尾 櫻子 [1]、相原 尚之 [2]、志賀 崇徳 [2]、峰重 隆幸 [1]、上家 潤一 [1,2]
[1)]麻布大学獣医学部臨床診断学研究室、[2)]麻布大学獣医学病理学研究室

座長：山科 俊平（順天堂大学医学部消化器内科）

P-06　p53 標的遺伝子 PHLDA3 は肝線維化を促進する

○小林 直矢 [1,2]、浜上 嵐 [1,2]、牧野 祐紀 [3]、山本 雅大 [4]、大木 理恵子 [2]
[1)]東京科学大学医歯学総合研究科 NCC 腫瘍医科学、[2)]国立がん研究センター研究所基礎腫瘍学ユニット、
[3)]大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学、[4)]熊本大学大学院生命科学研究部腫瘍病理解析学講座

P-07　肝線維化回復期における肝星細胞状態のシングルセル解析

○西條 栄子 [1]、伊藤 暢 [2]、中戸 隆一郎 [1]
[1)]東京大学定量生命科学研究所、[2)]東京科学大学バイオメディカルセンター

P-08　肝星細胞および線維芽細胞活性化における von Willebrand factor の関与

○三谷 成二 [1]、吉田 里咲 [1]、細田 千裕 [1]、高林 葉子 [1]、岸 利江子 [1]、持田 彩花 [1]、奥田 実登 [1]、
嶋 緑倫 [2]、辰巳 公平 [1]
[1)]奈良県立医科大学血栓止血先端医学講座、[2)]奈良県立医科大学

P-09　肝がんにおけるがん関連線維芽細胞のサブタイプの同定と分化機序の解析

○宮﨑 宏大[1]、大岡 央[1,2]、志津 怜太[1,2]、鈴木 祥菜[1,2]、吉成 浩一[1,2]

[1)]静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府衛生分子毒性学講座、[2)]静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野

P-10　肝アミロイドーシスにおける肝星細胞活性化とコラーゲン線維構築の乖離に関する検討

○中居 暉[1,2]、藤井 英樹[3,4]、小谷 奈々[2]、湯浅 秀人[2]、松原 勤[2]、津田 昌宏[5]、繪本 正憲[5]、日野 雅之[6]、田中 さやか[7]、孝橋 賢一[7]、打田 佐和子[4]

[1)]大阪公立大学大学院医学研究科医化学、[2)]大阪公立大学大学院医学研究科機能細胞形態学、

[3)]大阪公立大学大学院生活科学研究科食栄養学分野、

[4)]大阪公立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学肝胆膵内科、

[5)]大阪公立大学大学院医学研究科腎臓病態内科学、[6)] 大阪公立大学大学院医学研究科血液腫瘍制御学、

[7)]大阪公立大学大学院医学研究科診断病理・病理病態学

座長：立野 知世（株式会社フェニックスバイオ）

P-11　ゲノム編集を施したヒト iPS 細胞由来肝臓オルガノイドによる CYP3A4/3A5 分子種特異的な評価系の構築

○渡邊 陽[1]、植山 由希子[1,2,3]、朝野 怜[2]、水口 裕之[1,2,3,4,5]

[1)]大阪大学薬学部、[2)]大阪大学大学院薬学研究科、[3)]大阪大学先導的学際研究機構、

[4)]大阪大学国際医工情報センター、[5)]大阪大学感染症総合教育研究拠点

P-12　ヒト iPS 細胞から胆管上皮細胞への分化過程における Tolloid-like 1（TLL1）の機能および産生細胞の解析

○中田 柚葉[1]、植山（鳥羽）由希子[1,2,3]、越野 智葵[1]、水口 裕之[1,2,3,4,5]

[1)]大阪大学薬学部、[2)]大阪大学大学院薬学研究科、[3)]大阪大学先導的学際研究機構、

[4)]大阪大学国際医工情報センター、[5)]大阪大学感染症総合教育研究拠点

P-13　細胞培養系の酸素・栄養環境がヒト肝細胞癌代謝に与える影響の解析

○山崎 允丈[1]、菊川 拓暉[1]、髙橋 淳[2]、江刺家 勝弘[2]、楊 晶晶[2]、山崎 聡[2]、進藤 潤一[3]、酒井 康行[1]、西川 昌輝[1]

[1)]東京大学大学院化学システム工学専攻、[2)]三井化学株式会社、[3)]虎の門病院

P-14　エネルギー代謝に着目した新規肝細胞培養系の開発

○菊川 拓暉[1]、山崎 允丈[1]、下平 岳[1]、時任 文弥[2]、勝田 毅[3]、菅原 徹[4]、井上 貴雄[5]、高橋 淳[6]、江刺家 勝弘[6]、楊 晶晶[6]、山崎 聡[6]、上原 正太郎[7]、米田 直央[7]、樋口 裕一郎[7]、末水 洋志[7]、酒井 康行[1]、西川 昌輝[1]

[1)]東京大学大学院工学系研究科、

[2)]Department of Surgery, Eli and Edythe Broad Center of Regeneration Medicine and Stem Cell Research, University of California, San Francisco、

[3)]山口大学細胞デザイン医科学研究所、[4)]京都工芸繊維大学材料化学系、[5)]山口大学大学研究推進機構、

[6)]三井化学株式会社、[7)]公益財団法人実中研

座長：市戸 義久（札幌医科大学医学部附属研究所再生医学研究所組織再生学部門）

P-15　胆汁動態解析に向けた生体外肝・胆管接合組織の構築

○岩井 俊樹[1]、山下 忠紘[1]、須藤 亮[1]
[1)]慶應義塾大学大学院理工学研究科

P-16　新規増殖性ヒト肝細胞 SirHeps の *in vitro* における成熟肝細胞への分化培養方法の検討

○山崎 ちひろ[1]、古川 鈴恵[1]、小川 裕子[1]、森岡 晶[1]、菅原 豪[1]、石田 雄二[1,2]、立野 知世[1,2,3]
[1)]株式会社フェニックスバイオ、[2)]広島大学大学院医系科学研究科、[3)]和歌山県立医科大学

P-17　センダイウイルスベクターを用いたヒト誘導肝前駆細胞の作製

○谷口 純彬[1]、川又 理樹[1,3]、坂口 嘉彬[1]、三浦 静[2]、堀澤 健一[1]、中西 真人[4]、鈴木 淳史[1]
[1)]九州大学生体防御医学研究所器官発生再生学分野、[2)]九州大学生体防御医学研究所幹細胞医学分野、
[3)]山口大学細胞デザイン医科学研究所融合研究推進室ゲノム制御医学、[4)]ときわバイオ株式会社

P-18　単核肝細胞と二核肝細胞の分取技術の開発および遺伝子発現解析

○渡辺 悠介[1,2]
[1)]東京大学工学部、[2)]山口大学細胞デザイン医科学研究所融合研究推進室ゲノム制御医学

座長：三浦 静（九州大学生体防御医学研究所）

P-19　p53 標的遺伝子 p53PAD5 は HSP 誘導を介して肝内胆管がんの進展を促進する

○加賀屋 武蔵[1,2]、小林 直矢[1,3]、Krishnaraj Jayaraman[1]、田端 裕子[1]、青木 清乃[1]、
山本 樹[1,4]、田嶋 智子[1]、坂口 裕紀子[1]、塩川 大介[5]、八尾 良司[6]、山本 雅大[7]、
山野 荘太郎[8]、大木 理恵子[1]
[1)] 国立がん研究センター研究所基礎腫瘍学ユニット、[2)] 北里大学大学院 理学研究科生物科学専攻、
[3)] 東京科学大学大学院 NCC 腫瘍医科学分野、[4)]千葉大院・医学薬学・先端医学薬学、
[5)] 愛媛大学先端医療創生センター、[6)]がん研究会・がん研究所・細胞生物、
[7)] 熊本大学大学院 生命科学研究部 腫瘍病理解析学講座、
[8)]労働安全衛生総合研究所・有害性試験研究領域病理グループ

P-20　PPI による Acute-on-chronic liver failure の病態増悪における腸肝相関の役割

○森 仁志[1]、鍛治 孝祐[1]、西村 典久[1]、浪崎 正[1]、吉治 仁志[1]
[1)]奈良県立医科大学消化器内科学講座

P-21　肝疾患における PHLDA ファミリーの機能解析

○浜上 嵐[1,2]、小林 直矢[1,2]、青木 清乃[2]、加賀屋 武蔵[2,3]、陳 ヨ[2]、牧野 裕紀[4]、
塩川 大介[5]、山本 雅大[6]、大木 理恵子[2]
[1)]東京科学大学大学院 NCC 腫瘍医科学分野、[2)]国立がん研究センター研究所基礎腫瘍学ユニット、
[3)]北里大学大学院 理学研究科 生物科学専攻、[4)]大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学、
[5)]愛媛大学先端医療創生センター、[6)]熊本大学大学院 生命科学研究部 腫瘍病理解析学講座

P-22　心理的ストレスへの感受性が高い個体では、MASH に伴う肝線維化が抑制され、肝細胞傷害が増悪する

○佐藤 智之[1]、山口 皓平[1,2]、八谷 顕子[1]、岡谷 千晶[1]、豊田 淳[3]、大石 勝隆[1,2,4]
[1)]産業技術総合研究所細胞分子工学研究部門、[2)]東京理科大学大学院創域理工学研究科、
[3)]茨城大学学術研究院応用生物学野、[4)]東京大学大学院新領域創成科学研究科

P-23　BH3-only タンパク Noxa は MASLD において肝細胞のアポトーシスと脂肪化を促進する

○齋藤 義修[1]、清木 祐介[1]、浜辺 友也[1]、山内 亮平[1]、佐々木 陽一[1]、白井 久美子[1]、
坂根 貞嗣[1]、村井 一裕[1]、疋田 隼人[1]、小玉 尚宏[1]
[1)]大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学

座長：Le Thi Thanh Thuy
（大阪公立大学大学院医学研究科 グローバル教育・医療学）

P-24　肝再生における肝細胞置換現象のメカニズム解明

○豊田 成美[1]、山根 沙彩[1]、西川 昌輝[1]、酒井 康行[1]、勝田 毅[2]
[1)]東京大学大学院工学系研究科、[2)]山口大学細胞デザイン医科学研究所

P-25　マウス肝細胞集団が in vivo 環境で示す細胞内カルシウムシグナルの時空間動態解析

○小池 泉[1]、谷田部 一輝[1]、平岡 優一[2]、茂木 優貴[1]、三木 敏生[1]、飯野 正光[1]、金丸 和典[1]
[1)]日本大学医学部生理学分野、[2)]東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター

P-26　マウス肝移植モデルにおける MHC class Ⅰ発現の長期的解析

○藤田 桃子[1]、澤武 玲那[1]、前田 菜花[1]、河合 彩音[1]、祝迫 惠子[1]、木村 吉秀[2]、
秋山 佳穂[2]、竹入雅敏[2]
[1)]同志社大学大学院生命医科学研究科
[2)] 同志社大学病態解析研究センター

P-27　Morphogenesis and maturation of the hepatocyte-derived biliary tree involve mechanisms distinct from metaplasia

○Kurial Simone[1,2]、Bartel Jan[1]、Willenbring Holger[1]
[1)]UCSF 大学、[2)]川崎医科大学解剖学部

P-28　アセトアミノフェン肝障害におけるミトコンドリア膜透過性遷移を介した好中球細胞外トラップ形成の寄与

○仲宗根 慶人[1]、竹村 晃典[2]、Mercado Garcia Olga Linet[1]、伊藤 晃成[2]
[1)]千葉大学大学院医学薬学府、[2)]千葉大学大学院薬学研究院

17:10～18:00　イブニングセミナー2　アルコール関連肝疾患における診療 Up to date

座長：吉治 仁志（奈良県立医科大学消化器内科学講座）

アルコール関連肝疾患における肝－筋連関について

江口 暁子 （三重大学医学部附属病院バイオバンクセンター 病院）

肝微小環境と飲酒行動の接点　―アルコール関連肝疾患の病態と減酒治療―

高見 太郎 （山口大学大学院医学系研究科消化器内科学）

共催：大塚製薬株式会社

18:30～20:30　全員懇親会

会場：しものせき水族館 海響館 （参加費無料・送迎バスあり）

第 3 日目:11 月 21 日(土)

8:30~9:20　モーニングセミナー2

座長:日浅 陽一(愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌・代謝内科学)

HCV 撲滅を目指した薬物使用者(PWUD)に対する 当科の取り組み
~司法と医療の協力体制構築を目指して~

佐々木 嶺(山口大学大学院医学系研究科消化器内科)

近赤外線が紡ぐ肝がんナノ DDS 治療開発

仁科 惣治(川崎医科大学消化器内科学)

共催:アッヴィ合同会社

9:30~10:20　口演 6　【肝疾患と代謝】

座長:紙谷 聡英 (東海大学医学部)
今　一義 (順天堂大学医学部消化器内科)

O6-1　肝硬変再生療法の治療効果に寄与する間葉系間質細胞因子の検討と高品質培養法の開発

○小林 真帆[1,2]、松本 俊彦[2]、藤岡 毅[2]、山本 直樹[3]、高見 太郎[2]

[1)]山口大学大学院医学系研究科保健学専攻基礎検査学、[2)]山口大学大学院医学系研究科消化器内科学、
[3)]山口大学健康科学センター

O6-2　Wnt/β-catenin を介した肝代謝リプログラミングによる MASH 新規治療法の開発

○稲田 浩気[1]、Monga Paul[2]、田中 靖人[1]

[1)]熊本大学消化器内科、[2)]Pittsburgh Liver Research Center, University of Pittsburgh

O6-3　肝臓特異的 PNPLA7 欠損マウスが明かすリン脂質分解とトリグリセリド・糖代謝の新たなクロストーク

○平林 哲也[1]、川口 舞[1]

[1)]東京都医学総合研究所先端基礎医科学研究分野

O6-4　脂質代謝と加齢による肝性差の可塑的変容

○酒井 真志人[1]、菱川 大介[1]、佐藤 博文[1]、豊島 翔太[1]

[1)]日本医科大学大学院医学研究科分子遺伝医学分野

O6-5　ミトコンドリア因子 Maip1 の成体肝臓特異的欠損は糖代謝異常を伴う肝障害を誘導する

○額田 聖南[1]、酒井 英子[1,2]、井尾 柊太[1]、荒居 千遥[1]、菊池 太賀[1]、水口 裕之[1,2,3,4,5]

[1)]大阪大学薬学部、[2)]大阪大学大学院薬学研究科、[3)]大阪大学国際医工情報センター、
[4)]大阪大学先導的学際研究機構、[5)]大阪大学感染症総合教育研究拠点

10:25~11:15　特別講演 2

座長：高見 太郎（山口大学大学院医学系研究科消化器内科学）

肝再生医療の新展開：化学的リプログラミングによる肝前駆細胞移植から細胞外小胞治療へ

落谷 孝広（東京医科大学医学総合研究所未来医療研究センター分子細胞治療研究部門）

11:30~12:20　ランチョンセミナー3

座長：寺井 崇二（新潟大学大学院医歯保健学研究科消化器内科学分野）

C 型肝炎治療と基礎研究の up to date

疋田 隼人（大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

12:30~14:40　シンポジウム 3　【新規治療法の創出】

座長：谷水 直樹（東京大学医科学研究所）
松本 俊彦（山口大学大学院医学系研究科消化器内科学）

SY3-1　肝組織由来細胞外小胞の網羅的解析と肝病態に応じた作用の検討

○阿部 寛幸[1]、羅 挺[1]、弥久保 俊太[1]、熊谷 優[1]、吉田 智彰[1]、木村 成宏[1]、佐々木 玲奈[1]、横尾 健[1]、坂牧 僚[1]、上村 博輝[1]、上村 顕也[2]、寺井 崇二[1]

[1)]新潟大学大学院医歯保健学総合研究科消化器内科学分野、[2)]新潟大学医学部医学科総合診療学講座

SY3-2　iPS 細胞由来間葉系間質細胞細胞外小胞の MASHに対する治療効果の検討

○藤岡 毅[1]、松本 俊彦[1]、川本 大樹[1]、山本 直樹[2]、藤澤 浩一[3]、高見 太郎[1]

[1)]山口大学大学院医学系研究科消化器内科学、[2)]山口大学教育機構健康科学センター、
[3)]産業医科大学産業生態科学研究所快適環境部門職業性腫瘍学

SY3-3　肝線維症に対する再生促進因子 OGFRL1 の分子基盤

○柳川 享世[1]、小川 はる美[2]、渡邊 まゆみ[2]、田中 政之[3]、高瀬 彰紀[3]、住吉 秀明[1]、稲垣 豊[2]

[1)]東海大学医学部基礎医学系生体機能学領域、[2)]東海大学総合医学研究所、
[3)]東海大学医学部生命科学統合支援センター

SY3-4　Steatotic Liver Disease における肝内パターン認識受容体発現と門脈血中細菌由来 DNA の検討

○内山 明[1]、今 一義[1]、山科 俊平[1]、池嶋 健一[1]

[1)]順天堂大学医学部消化器内科

SY3-5　肝臓で産生されるスクレロスチンは慢性肝疾患における肝線維化やサルコペニアの増悪に関与する

○江口 暁子[1]、岩佐 元雄[1,2]、中川 勇人[1]

[1)]三重大学医学部、[2)]村瀬病院

SY3-6　胆管接続型肝臓オルガノイドを用いた胆汁うっ滞性肝線維化制御機構の解明

○青嶋 研治[1,2]、谷水 直樹[1]、谷口 英樹[1,2]

[1)]東京大学医科学研究所 再生医学分野、[2)]東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻

SY3-7　MASH 治療薬開発に向けたヒト iPS 細胞の利用

○田中 稔[1]、木島 真理恵[1]、鐘ヶ江 佳寿子[1]、中野 泰博[2]、木戸 丈友[3]、宮島 篤[3]
[1)]国立健康危機管理研究機構肝炎・免疫研究センター、[2)]金沢大学新学術創成研究機構、
[3)]東京大学定量生命科学研究所

14:40～15:00　表彰式・閉会式